

頭を抱えてしまうような制約から  
それを乗り越える表現が生まれる

飾り立てず、「トコロ」  
商品とメッセージで勝負

新聞1ページの横幅いっぱいには大きく配された「未来を変えろ」「セダン愛」というキャッチコピー。その下には開発は革命だ、常識をひっくり返し、自分の限界をひっくり返す。「二超アコード。クルマの愉びを追求するか。環境への配慮を優先するか。そんな二者択一の選択肢に、本当の答えはない」とリードコピーが続く。2013年6月7日と21日に掲載された本田技研工業(ホンダ)の「EARTH DREAMS セダンシリーズアコード ハイブリッド」の新聞広告は、扇動的なコピーが目を引くデザインだ。

「2モーター・ハイブリッドシステムによって、究極のセダンを作るんだというホンダの熱い想いを飾らず、そのままゴロっと出そうと考えました」と話すのは、クリエイティブ・ディレクターを務めた高橋秀明さん。

この熱いコピーによる表現は、2012年の企業広告負けるもんか。」それに

続く「答えを出す。」の流れを継承したものでもある。タレントを使わず、プロダクトとメッセージで勝負する。その表現は、競合他社との差別化につながった。これまでも、ホンダはスーパーカブやシビックなど、独自に開発した新技術により、世界的なヒット商品を生み出している。オイルで汚れた手が世の中を変える、と愚直で武骨なのが、ホンダらしさのひとつ。」だからこそ、シンプルな表現にこだわった」と高橋さんは言う。

戦略立案から映画セダンファンの心に訴えた  
最適な走りや居住性を重視した上級セダンでありながら、ハイブリッドでエコロジ。一見すると相反するような二つのテーマを、どういうターゲットに向けてどんな切り口で表現していくか。高橋さんは戦略の段階から携わり、コミュニケーションの設計図を作り上げた。「最近ではファミリーカーといえばミニバン型が主流。けれども、実はセダンに乗りたいたいと思ってるコアなファンはいる。ど

「未来を変えろ。」というコピーで始まる広告は、EARTH DREAMS セダンシリーズの始まりを告げるテイザー(予告)広告のような位置づけだ。掲載はアコード ハイブリッドの発売約2週間前。期待値を上げるために、あえてクルマの全景は見せない写真を採用した。そして、発売当日に「セダン愛。」で始まる広告を掲載。セダン特有のシルエツトが美しく見える写真を用いて、「やっぱりクルマと

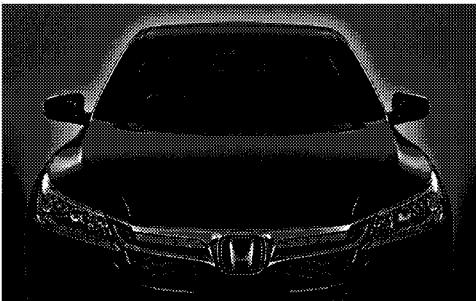
「未来を変えろ。」というコピーで始まる広告は、EARTH DREAMS セダンシリーズの始まりを告げるテイザー(予告)広告のような位置づけだ。掲載はアコード ハイブリッドの発売約2週間前。期待値を上げるために、あえてクルマの全景は見せない写真を採用した。そして、発売当日に「セダン愛。」で始まる広告を掲載。セダン特有のシルエツトが美しく見える写真を用いて、「やっぱりクルマと

ヒット。広告が果たした役割も大きい。  
高橋さんは地元、金沢の美大を卒業後、電通に入社。これまでも、様々な広告に携わっている。仕事の面白みについては「菓子メーカーの仕事をする日もあれば、パンクバンドのCDジャケットやポスターを作る日もあって様々な会社の個性をじかに知ることができる。いわゆるルーチンワークじゃないこと」と高橋さん。クライアントの意向、競合他社との差別化、今までになかった表現といった、頭を抱えてしまうような数々の制約についてもポジティブに捉えている。「制約はルール。何でも好きなように表現していいよって言われるほうが逆に悩ましいんです。いろんな障壁があるのでなかなか思うようにはいきませんが、これいいな〜!と思えるような広告を見るたびに、それに追いつきたい、超えたいっていう気持ちで湧くんです。だから20年以上、飽きずに続けていられるのだと思います」

## 未来を変えろ。

開発は革命だ。常識をひっくり返し、自分の限界をひっくり返す。環境性能を高めるには、装備と性能をシンプルにして、ボディを軽化した方がいい。しかしHondaの新しいセダンシリーズは、快適も上質も何ひとつあきらめない。その上で、先進のエコカーに匹敵する燃費をたたき出す。革新のハイブリッドシステムで、圧倒的な技術で、未来を受け入れるのではなく、自分でつくり出すもの。セダンという最もクルマらしいクルマが変われば、きっとクルマが変わる。未来が変わる。

EARTH DREAMS セダンシリーズ  
第一弾、燃費30.0km/L ACCORD ハイブリッド、6.20 誕生。



HONDA  
The Power of Dreams

2013年6月7日付朝刊掲載

## セダン愛。

超アコード。クルマの愉びを追求するか。環境への配慮を優先するか。そんな二者択一の選択肢に、本当の答えはない。Hondaは問題を超越したところに、新しい答えをつくり出す。2モーター・ハイブリッドシステム搭載。走ることの快適と上質を極めながら、燃費30.0km/Lを実現した。セダンを愛すること。人生を愛し、地球の未来を愛すること。燃費30.0km/L

ACCORD ハイブリッド 誕生



HONDA

2013年6月21日付朝刊掲載



高橋秀明さん

たかはし・しゅうめい/1989年金沢美術工芸大学商業デザイン学科卒。同年電通に入社。現在、第5CRプランニング局に所属。明治、日本航空、UCC、フジテレビジョン、富士急ハイランド、サントリー、大塚製薬などの広告を担当。最近の仕事に、マキシマム ザホルモン「予襲復讐」、ソネットNURO光「NURO DEVILMAN」など。NYADC賞、毎日広告デザイン賞、日経広告賞、スパイクアジアなど受賞多数。

文/西山薫 写真/和田和弘